

日本ゲノム微生物学会

2007年第1回総会議事録

日 時 平成19年3月1日（木） 13：30～14：30
場 所 かずさアカデミアホール 201会議室

久原哲会員が開会挨拶を行い、日本ゲノム微生物学会会則第5条により総会成立を確認し、出席者から議長の提案を求めたが、提案がなかったことから、加藤潤一会員、高見英人会員を推薦し、承認を得た。

加藤潤一会員、高見英人会員が議長となり議事に入った。

審議事項

第1号議案 役員を選出について

久原哲会員より、資料1に基づき、2008年12月31日までの役員案が提案され、承認された。

承認をうけ、吉川寛会長から挨拶があった。

第2号議案 会則の改正について

吉川寛会長から、資料2に基づき、会則の改正案が提案され、小笠原直毅幹事から説明があり、改正案が承認された。

第3号議案 2007年活動計画について

吉川寛会長から、資料3に基づき、活動計画が提案され、小笠原直毅幹事から説明があった。WEBサイトの充実は黒川顕幹事が責任者であり、意見をだしてほしいこと、若手研究会の開催を計画していること、2008年年会に向けて奨励賞など若手会員の顕彰制度を検討すること、2008年秋に会員名簿を作成することが報告され、承認された。

第4号議案 2007年予算案について

吉川寛会長から予算案が提案され、林哲也幹事から説明があり、承認された。

報告事項

2007年年会について、年会会長の小笠原直毅幹事より挨拶があった。

2008年年会について、引き続き小笠原直毅幹事が年会会長となることが報告され、大阪大学コンベンションホールでの開催を検討しているとの挨拶があった。

2009年年会については、小笠原幹事より、大森正之評議員が年会会長となることが報告された。

議長が、以上をもって議事を終了した旨をのべ、閉会を宣言した。

上記議事の経過と議決の結果を明確にするため、下記の通り議長が署名人として捺印する。

平成19年3月 日

議長 加藤 潤一
議長 高見 英人

日本ゲノム微生物学会 第1期 役員案

会 長	吉川 寛
庶務・会計幹事	林 哲也、黒川 顕
集会幹事	小笠原 直毅、田畑 哲之
評 議 員	饗場 浩文
	穴澤 秀治
	有田 正規
	飯田 哲也
	池内 昌彦
	石浜 明
	磯野 克己
	大島 泰郎
	大森 正之
	久原 哲
	倉光 成紀
	五味 勝也
	菅原 秀明
	津田 雅孝
	服部 正平
	林 英生
	原島 俊
	別府 輝彦（議長）
	堀之内 未治
	森 浩禎
会計監査	小林 一三
	中井 謙太

日本ゲノム微生物学会 会則改正案

提案理由

ゲノム微生物学の発展に関心を持つ非営利団体が、入会を希望する場合、「賛助会員」という名称はふさわしくないため、非営利団体を主たる対象として「機関会員」を新たに設ける。

改正前

第5条 本会の会員は正会員、賛助会員、及び名誉会員とする。

1. 正会員はゲノム微生物学に関する研究に従事、またはこれに関心をもつ個人であって、本会の目的に賛同し、定められた会費を納める者をいう。
2. 賛助会員は本会の目的に賛同し、定められた賛助会費1口以上を納める個人または団体をいう。
3. 名誉会員は、本会对し特に功労のあった正会員のうちから評議員会の推薦を得て総会の議決により決定する。

改正案

第5条 本会の会員は正会員、機関会員、賛助会員、及び名誉会員とする。

1. 正会員はゲノム微生物学に関する研究に従事、またはこれに関心をもつ個人であって、本会の目的に賛同し、定められた会費を納める者をいう。
2. 機関会員は本会の目的に賛同する非営利団体であって、定められた会費1口以上を納める者をいう。
3. 賛助会員は本会の目的に賛同し、定められた会費1口以上を納める個人または団体をいう。
4. 名誉会員は、本会对し特に功労のあった正会員のうちから評議員会の推薦を得て総会の議決により決定する。

改正前

第8条 会員は下記の会費を納めるものとする。ただし名誉会員はこれを要しない。

正会員	一般会員	年額	3000円
	学生会員	年額	1000円
賛助会員		年額	一口以上（一口30,000円）

改正案

第8条 会員は下記の会費を納めるものとする。ただし名誉会員はこれを要しない。

正会員	一般会員	年額	3000円
	学生会員	年額	1000円
<u>機関会員</u>		<u>年額</u>	<u>一口以上（一口25,000円）</u>
賛助会員		年額	一口以上（一口30,000円）

日本ゲノム微生物学会 2007年活動計画案

1. 会員間の情報交換、ゲノム微生物学の社会的アピールのために、学会WEBに、国際学会報告、研究トピックスなどを、会員が投稿できるページを作成する。
2. 若手研究会の開催、シンポジウムの共催等、ゲノム微生物研究の発展、普及のための活動に、幹事会を中心に取り組む。
 - ・若手研究会：世話人 大島拓、黒川顕、石川周（奈良先端）、山本兼由（法政大）
 - ・バイオインダストリー協会等と連携したシンポジウム開催を検討する。
3. 2008年年会に向け、奨励賞など、若手会員の顕彰制度を検討する。
4. 今年は会員名簿の発行を行わず、評議員の選挙に併せて、来年に行う。

2007年 日本ゲノム微生物学会 予算案

収 入

1. 会費収入

一般会員	220名	660,000円
学生会員	80名	80,000円
賛助会員	35団体(50口)	1,500,000円

2. 雑収入(カンパなど)

100,000円

計

2,340,000円

支 出

1. 設立準備費(事務局立替)

245,872円

2. 事務委託費(事務局)

400,000円

3. 年会時の入会受付経費

30,000円

4. 年会援助金

1,330,000円

6. 会議費

20,000円

7. 旅費(幹事会旅費を含む)

100,000円

8. その他雑費(通信費・手数料等)

100,000円

9. 予備費

114,128円

10. 次年度繰越金

0円

計

2,340,000円

参考資料 (現在の会員登録数)

一般会員 197名

学生会員 52名

賛助会員 34団体(47口)